7月1日（水曜日）「人生理解の鍵」

【新改訳 2017】

箴言　1•1ー7

「主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。」（7節）

若いころ、まだ聖書と出会う前、著者は人生の意味を求めて悶々としたことがあります。文学書を読みながら、優れた文学者たちが心を病んだり、自殺したりしていることに恐れを感じていました。教員となっても、大学で学んでも、なかなか解決が得られず、必死にもがいて自分なりの人生観をもちました。人生には正しい生き方、美しい生き方、本当に価値ある生き方、自然な生き方があるはずだーということでした。しかしそれが何か、わかりませんでした。

そして悩み続けた時、聖書を読むように導かれ、創造主なる神を知って、初めてそれがわかりました「主を恐れることは知識の初めである」ーこれが人生のマスター•キーでした。この鍵で次々と人生の問題解決への扉が開かれたのです。ぜひこの鍵を持ち、活用されますように。

～祈り～

主よ。あなたを恐れることを教えてくださり、ありがとうございます。一人でも多くの人が、この人生理解のマスター・キーによって、さまざまな問題を解決できるように助けてください。

【学びのために】

箴言について:「箴言」とは、実際生活における教訓を与える短いことば。ことわざ、格言。ソロモンに由来するものが多いことから、「ソロモンの箴言」とも言われています。このような形に編集されたのは、ヒゼキヤ王の時代以降（25・1参照）、捕囚後まもなくと考えられています。